

私立スプリング予備校 第九講



今回は新形カタサ試験機のお話で道草を喰いましたが、いよいよばねの歴史も昭和期に入ることになりました。昭和期はごく近世のことですから、みなさんご承知のことが多々あることと思いますので駈足で勉強しましょう。

○自動車工業の推移

ばね工業は大正後期の発達をうけついで、益々隆盛するわけですが、なんとといってもこれに貢献したのは自動車と飛行機なので今回はこの話を中心に勉強します。大正末期から昭和初期にかけてアメリカ系の自動車工業が進出したことは前に述べましたが、これに刺激されて日本でも既設の三社(快進社・石川島造船・東京ガス電気)が本格的に生産にのり出しました。とは申しまして、昭和5年の両者の供給台数はアメリカ系二社の36375台に対して、日本の三社は437台ということになっています。また、国産自動車ばねの注文が昭和7年ごろから多くなった記録がありますが、このころにはカーメーカーも増加し三菱神戸造船(ふそう)川崎車両(六甲)日本車両(熱田)等が新しく名乗りを上げてまいりました。昭和7年の国産自動車の生産実績は、普通車696台・小型四輪車184台・三輪車1511台となっています。特徴として三輪車がこの後も急激に伸びますが、わが国の国力や道路事情によくマッチしたためと思われます。話は前後しますが、このころから国際情勢が次第に悪化し、ついに満州事変(昭和六年九月)から、やがて第二次世界大戦に至るわけです。ここの満州事変の経験は、陸軍に国産自動車工業の確立の必要を痛感させました。この頃から政府は、アメリカ系の会社の生産を圧迫し、ついに1939年(昭和14年)には製造停止に追いやるわけですが、反面、国産メーカーを援助し、1936年(昭和11年)にトヨタ・ニッサンが創立され、つづいて大正期かから創業されていた前記三社が、1941年(昭和16年)に合併してチーゼル自動車工業(現いすゞ)になるわけです。ここにおよんで、やっと今日の自動車工業の大半がみられるようになりました。終戦後の一時期の休業から今日の自動車工業の盛業は、みなさんご承知のとおりですので省略いたします。

○航空機工業の推移

自動車とならんで航空機工業が発達したのも大体自動車工業と同じ経路をたどりますが、ばね工業と大いに関連がありますので、これも予備校らしく駈足で勉強しましょう。明治末期に飛行機は輸入されておりますが、大正時代は外国から製造権を購入して製作するという模倣期でした。昭和5年になって、やっとみずから設計・製造する自立時代に入りましたが、この後の発達事情は全く自動車工業と同じで、陸海軍の積極的な助成によって急速に発達したものです。このため、1940年(昭和15年)頃には世界的な性能の飛行機が国産され、また第二次大戦の末期、1944年には年間24000台の飛行機が生産され、質量ともに世界水準に達しました。しかし、終戦により壊滅し、今日に至っていることはよくご承知のとおりです。

株式会社アキュレイト 渡邊 信一

うえぶさいと www.accurate.jp 電子手紙 customer@accurate.jp

※ 本文は昭和41年から44年頃にかけて、新聞に掲載された記事の抜粋です。アキュレイトでは、掲載に携わった方々を探しています。また、工業規格や技術用語などはオリジナルのまま掲載しております。その為現在の規格と異なる表記がございます事をご了承ください。

※ 本文内容の転記・複写・改編を禁じます

○戦争とばね工業

昔から、戦争があると兵器が大量に需要され、また新兵機の発明開発等もさかんになり、当然の結果として、工業技術全般のレベルが上昇します。日本も第二次世界大戦のお陰で、前述の自動車や飛行機だけでなく、小は歩兵銃から大は戦艦の大砲に至るまでの銃砲等の兵器工業をはじめ、車両・造船・機械等の工業も異常な発達をとげたわけです。ばね工業も、この間、これら関連産業の大量需要によく応えて活躍したことはご存知のとおりで、そのため、現在の機械設備による近代工業としての基盤が出来上がったといってもよいでしょう。ちなみに昭和初期から昭和16年ころにかけて、ばね会社はぞくぞくと誕生しており、現在活躍している大小のばね会社の前身や母体となっています。今回の昭和期に入る前に、昭和期の背景となる自動車と航空機工業を中心に、その発達の推移を簡単に述べましたが、次回からまたばね技術史に入りたいと思います。

今日はここまで。

以上

株式会社アキュレイト 渡邊 信一

うえぶさいと www.accurate.jp 電子手紙 customer@accurate.jp

※ 本文は昭和41年から44年頃にかけて、新聞に掲載された記事の抜粋です。アキュレイトでは、掲載に携わった方々を探しています。また、工業規格や技術用語などはオリジナルのまま掲載しております。その為現在の規格と異なる表記がございます事をご了承ください。

※ 本文内容の転記・複写・改編を禁じます